

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プロロジスパーク北上金ヶ崎 プロジェクト	階数	地上2F
建設地	岩手県胆沢郡金ヶ崎町六部土井道台2-159-17-151,53, 六部後平2-235	構造	S造
用途地域	区域区分非設定、法22条指定区域	平均居住人員	130 人
地域区分	4地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2026年1月 竣工	評価の実施日	2025年11月11日
敷地面積	78,484 m ²	作成者	株式会社イゾミコンサルティング
建築面積	27,644 m ²	確認日	2025年11月11日
延床面積	55,112 m ²	確認者	川田工業株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 2.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.7</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 3.6</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 4.1</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>岩手県胆沢郡金ヶ崎町に建築される平屋の物流倉庫である。周辺の環境に配慮し、既存緑地の保存を図っている。</p>		<p>その他</p> <p>-</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>・評価対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・階高や荷重にゆとりを持たせ、建物の対応性に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>・まちなみに配慮した景観計画としている。 ・高温排熱機器を設置しないことで、温熱環境の向上に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>・リサイクル材の使用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 ・建材は、汚染物質含有材料の使用を避けた計画としている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>・高効率な設備機器を導入により、CO2排出量の低減を図り、地球温暖化へ配慮している。 ・燃焼機器の使用を避けて、大気汚染防止に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される